

1 水道の普及

本県の水道は、甲府市が大正2年3月に給水人口10万人の施設を創設したのを初めとして、昭和10年までに上野原町、都留市、河口湖南水道企業団、大月市、勝沼町、富士吉田市が創設し、現在21施設の上水道が県内総人口の約7割の人々の生活を担っている。

しかし、簡易水道への依存率は依然として高く、事業の経営規模も給水人口300人以下の小規模のものが多い。

水道の普及は、戦後の生活水準の向上と衛生思想の普及、昭和27年の簡易水道に対する国庫補助制度の創設、さらに、昭和30年代からの経済成長に伴う施設数、給水人口、給水量の増加、昭和38年度の県単補助制度の創設等によって促され、昭和51年度には90%台に達した。

以後、昭和54年度に山梨県水道整備基本構想を策定し、未普及地域の解消や広域的な水道整備促進に努めてきた。

平成15年度末の給水人口は875,219人で、総人口899,974人に対する普及率は、97.2%であり、平成14年度末の全国普及率96.8%を上回っている。

市町村別の普及率は、市98.6%、町96.8%、村87.6%となっており、町村の普及率が市の普及率に比べて低い現状にある。

普及率が100%の町村は6（昨年度比4減）であるが、これは普及率100%の町村同士が合併したためである。また、95%以上の市町村は33（昨年度比1減）、85%未満の町村は3（昨年度比3減）である。

現在給水人口と普及率 (平成16年3月31日現在)

(単位：人)

区 分		市	町	村	計	
総 人 口		480,510	368,538	50,926	899,974	
給 水 人 口	上 水 道	412,654	221,971	2,933	637,558	
	簡易水道	60,980	134,091	39,693	234,764	
	内 訳	公 営	60,980	134,091	39,305	234,376
		その他	0	0	388	388
	専用水道	220	708	1,969	2,897	
	計	473,854	356,770	44,595	875,219	
普 及 率 (%)		98.6	96.8	87.6	97.2	